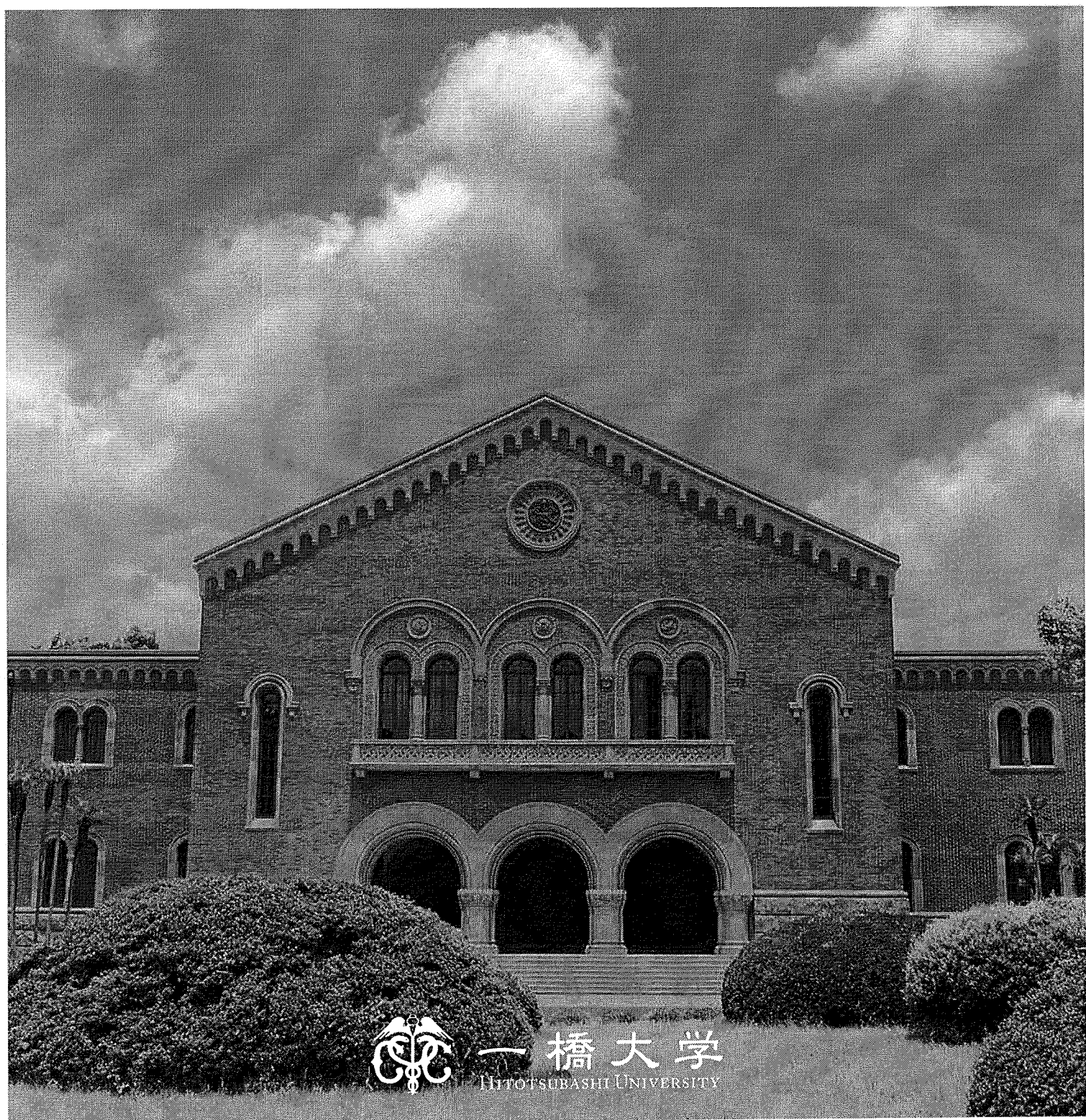


教育史学会

第62回大会プログラム

2018年9月29日(土) - 9月30日(日)



タイムテーブル

| 9月29日(土) | | 9月30日(日) | |
|----------|--|----------|--|
| 8:15 | 受付 本館1階ホール | 8:15 | 受付 本館1階ホール |
| 9:00 | 研究発表 本館2階 22・23・24・25・28番教室 | 9:00 | 研究発表 本館2階 22・23・24・25・28番教室 |
| 12:00 | 休憩 | 12:00 | |
| 13:00 | 総会・研究奨励賞授与式 本館2階 21番教室 | 13:00 | 研究発表 本館2階 22・24・25・28番教室 |
| 14:00 | 休憩 | | |
| 14:10 | シンポジウム 本館2階 21番教室 | 15:30 | 休憩 |
| | | 15:40 | コロキウム 本館2階 23・24・28番教室 |
| 17:40 | | 18:00 | |
| 18:00 | 懇親会 東キャンパス 東生協食堂 | | |
| 20:00 | | | |

理事会を、9月28日(金) 13:30より職員集会所で開催します。

紀要編集委員会・書評委員会を、理事会終了後に職員集会所で開催します。

9月29日(土) 午前 研究発表

第1分科会 会場：本館2階 25番教室

司会：川村 肇（獨協大学）・池田 裕子（東海大学）

- [1] 9:00 幕末期藩儒による学習環境の整備
—広島三原藩吉村家に着目して—

井上 快（広島大学・院）

- [2] 9:30 江戸時代晩期の和漢史事比較書
—虞淵方外史編『和漢駢事』の考察—

向野 正弘（向野堅一記念館／所沢西高校）

- [3] 10:00 近代日本における越後瞽女教育の歴史的研究
—長岡瞽女学校の組織とその役割—

西村 恵（筑波大学・院）

- [4] 10:30 千島アイヌの教育史 その1
—色丹島への強制移住（1884年）から教育所の設置（1894年）まで—

小川 正人（北海道博物館アイヌ民族文化研究センター）

〈総合討論〉 11:00-11:30

第2分科会 会場：本館2階 22番教室

司会：湯川 次義（早稲田大学）・谷本 宗生（大東文化大学）

- [5] 9:00 高等試験令第七条試験の研究

堀之内 敏恵（仙台青葉学院短期大学）

- [6] 9:30 高等学校令施行後における高等学校改革の実際

吉岡 三重子（お茶の水女子大学・院）

- [7] 10:00 教育調査会の学齢再検討をめぐる議論

柏木 敦（大阪市立大学）

- [8] 10:30 女子の寮生活における「自学自動」の研究
—新庄女学校における日本女子大学校卒業生の教育実践を中心に—

長野 和子（日本女子大学）

〈総合討論〉 11:00-11:30

9月29日(土) 午前 研究発表

第3分科会 会場：本館2階 24番教室

司会：三羽 光彦（芦屋大学）・鳥居 和代（金沢大学）

- [9] 9:00 児童福祉の制度化と教育思想の社会史
—国内外の研究動向と課題—
稲井 智義（北海道教育大学）
- [10] 9:30 師範学校の郷土教育における民謡の実践
—鳥取県師範学校を事例として—
鈴木 慎一郎（鳥取大学）
- [11] 10:00 「昭和三陸地震」後の岩手県気仙郡における生活指導実践
—立根尋常高等小学校・柏崎栄の綴方論を手掛かりに—
後藤 篤（奈良教育大学）
- [12] 10:30 社会教育施設の中心としての実業補習学校
—都農実業補習学校を事例として—
竹村 茂紀（日向学院高等学校）
- [13] 11:00 奉安殿の残存
—福岡県京築地域を事例として—
佐喜本 愛（九州産業大学）
- 〈総合討論〉 11:30-12:00

第4分科会 会場：本館2階 28番教室

司会：駒込 武（京都大学）・清水 康幸（青山学院女子短期大学）

- [14] 9:00 戦後北海道における引揚者による学校設置
坂本 紀子（北海道教育大学）
- [15] 9:30 恩賜財団同胞援護会孤児援護事業に関する研究
—引揚孤児を中心として—
逸見 勝亮（北海道大学）
- [16] 10:00 尼崎市立朝鮮学校における「不正常」な教育
呉 永鎬（世界人権問題研究センター）
- [17] 10:30 戦後の長期欠席・不就学施策に関する研究
—黄十字会の理念と実践を通して—
大崎 広行（武蔵野大学）
- [18] 11:00 解放教育の実現を不可能とみる自分自身との闘い
—昭和戦後期における同和・解放教育の—指導者・横田三郎（1923-2010）の生涯—
岡本 洋之（兵庫大学）
- 〈総合討論〉 11:30-12:00

9月29日(土) 午前 研究発表

第5分科会 会場：本館2階 23番教室

司会：佐野 通夫 (こども教育宝仙大学)・奈須 恵子 (立教大学)

[19] 9:00 壬戌学制のカリキュラムに関する再検討

今井 航 (別府大学)

[20] 9:30 日本統治下朝鮮の『初等地理書』と田中啓爾

白 恩正 (創価大学・非)

[21] 10:00 蒙疆学院の研究

何 広梅 (お茶の水女子大学・院)

[22] 10:30 華北占領期における義務教育の展開
—青島特別市を事例として—

山本 一生 (上田女子短期大学)

[23] 11:00 戦後台湾の道德教育と愛国心
—教師・関係者へのインタビュー—

山田 美香 (名古屋市立大学)

〈総合討論〉 11:30-12:00

シンポジウム

9月29日(土) 14:10～17:40 会場:本館2階 21番教室

教育史とはどのような学問か —「60周年記念出版」の検討を踏まえて—

〔提案者〕「60周年記念出版」の制作者の立場から

日本教育史領域 米田 俊彦 (お茶の水女子大学)

西洋教育史領域 宮本 健市郎 (関西学院大学)

東洋教育史領域 新保 敦子 (早稲田大学)

〔指定討論者〕比較教育社会史の視点から 岩下 誠 (青山学院大学)

教育の社会史の視点から 前田 晶子 (鹿児島大学)

教職教養との関連の視点から 白石 崇人 (広島文教女子大学)

〔司会〕木村 元 (一橋大学)、山名 淳 (東京大学)

趣 旨

教育史学会は60周年記念出版(『教育史の最前線Ⅱ』)を2018年5月に行った。

これを検討の対象として、教育史とはどのような学問としてあるかを考えたい。

そもそも学会の記念出版にはさまざまな形態がありえようが、これまでの研究を振り返り今後の課題や展望を見いだすという点においては共通している。こうした性格を踏まえて記念出版を捉え、そこに示される学問としての教育史の自己意識や課題認識などを検討の俎上に載せる。

本シンポジウムのタイトルである「教育史とはどのような学問か」と同様な趣旨の議論はこれまでも企画されてきた。にもかかわらずなぜあらためてこうした問いを構えるかは、教育史を取り巻く状況の変化があるからである。こんにちの大状況において、文教行政から人文・社会科学不要論が唱えられ、これまでにない危機感が当該諸学問のなかに存在する。そのなかで、教育史は、長らく教育学研究の中心に基礎科目として教育哲学とならんで存在したが、教育現場に根ざす実践至上的な要請を背景にして、その足場が揺らいでいる。教職教育のなかでの基礎科目としての教育史の位置の低下と共に進んだ、教育史研究のポスト減にともなう研究者の量的な減少という現実はそのことを示している。さらに、教育学研究のなかの教育史の位置づけの低下は、10年単位で刊行されてきた岩波教育学講座の内容編成の変遷からもうかがわれるように、教育学研究のなかでの相対的な存在感の希薄さにあらわれている。他方、歴史学研究の中においても教育史研究が位置づいていないという指摘もなされてきた(橋本伸也「歴史の中の教育と社会」『歴史学研究』No.830)。

人文・社会科学の存在が問われる現状を背景に、他方、教職科目という制度の学としての防波堤が揺らぐなかで、改めてそのあり方や中身に向かい合う必要が生まれているといえる。教育史学は何を示す学問なのか、学問としての意味は何か。そうした学問としての土台が問われている点にこんにちの課題がある。

本シンポジウムでは、改めて教育学の中での教育史の役割に着目しながら、教育史研究のあり方や可能性を考えたい。そのために、最新の研究動向の整理として60周年記念出版を捉え、そこに現れた教育史研究の方向性をみすえながら、これに中心的に携わった会員とこれから学会を担っていく世代との討論を軸にシンポジウムのコアを構成した。

指定討論者として、今後の教育史のありかたをめぐる議論の活性化に繋げるために、教育史学会の中では周辺にある比較教育社会史の視点、教育の社会史的な視点に加え、教職教養という制度の学と教育史の関係をどう考えるのかという視点を位置づけた。60周年記念出版のなかで教育史がどのように構成され認識されているか、さらに取り上げられている対象がどのように評価され位置づけられているかなどの議論を踏まえながら、教育史研究の学問としての意義と課題を考える機会としたい。

《提案者プロフィール》

米田 俊彦（よねだとしひこ） お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系・教授

研究領域：戦後教育史

主要業績：『現代教育史事典』（共編著）東京書籍、2001年

『近代日本教育関係法令体系』 港の人、2009年

宮本 健市郎（みやもとけんいちろう） 関西学院大学教育学部・教授

研究領域：アメリカ教育方法史

主要業績：『教育の個別化』（世界新教育運動選書24、共著）明治図書、1988年

『アメリカ進歩主義教授理論の形成過程—教育における個性尊重は何を意味してきたか』 東信堂、2005年

『空間と時間の教育史—アメリカの学校建築と授業時間割からみる』 東信堂、2018年

新保 敦子（しんぼあつこ） 早稲田大学教育学部・教授

研究領域：中国教育史、社会教育

主要業績：『我的教師之路』（中国語）（編著）教育科学出版社、2014年

『中国エスニック・マイノリティの家族—変容と文化継承をめぐって』（編著）国際書院、2014年

『超大国・中国のゆくえ5 勃興する「民」』（共著）東京大学出版会、2016年

《指定討論者プロフィール》

岩下 誠（いわした あきら） 青山学院大学教育人間科学部・准教授

研究領域：イギリス教育史・アイルランド教育史

主要業績：『教育支援と排除の比較社会史—「生存」をめぐる家族・労働・福祉』（共編著）昭和堂、2016年

Politics, state and Church: forming the National Society 1805–c.1818. *History of Education* 47(1), pp.1-17, 2018

「19世紀前半アイルランドにおける教育改革と国民統一国民学校制度の成立 1821年–1831年」『西洋史学』264号、pp.59-78、2017年

前田 晶子（まえだ あきこ） 鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系・教授

研究領域：近代日本における発達概念形成史研究

主要業績：「教育の社会史が教育原論をどう豊かにしたのか」『〈教育と社会〉研究』第27号、pp.7-17、2017年

「富士川游と治療教育学—教育病理学における“治療”と“教育”の架橋—」『日本の教育史学』第56集、pp.32-44、2013年

「江戸後期の医学における子ども認識」『日本の教育史学』第43集、pp.6-23、2000年

白石 崇人（しらいしたかと） 広島文教女子大学人間科学部・准教授

研究領域：近代日本教員史・教育会史・教育学史、教育史教育論

主要業績：『明治期大日本教育会・帝国教育会の教員改良—資質向上への指導的教員の動員』溪水社、2017年

「明治30年代半ばにおける教師の教育研究の位置づけ—大瀬甚太郎の「科学としての教育学」論と教育学術研究会の活動に注目して」『日本の教育史学』第60集、pp.19-30、2017年

「教員養成における教育史教育」『広島文教女子大学高等教育研究』第2号、pp.29-48、2016年

9月30日(日) 午前 研究発表

第6分科会 会場：本館2階 22番教室

司会：高橋 陽一（武蔵野美術大学）・池田 雅則（兵庫県立大学）

- [24] 9:00 開拓使の人才教育策の展開における教育経費
井上 高聡（北海道大学大学文書館）
- [25] 9:30 明治期の神官履歴書に見る地域知識人の学習歴
石井 大輝（東北大学・院）
- [26] 10:00 学制期の大学区教育会議に関する研究
—第七大学区教育会議の検討を中心に—
湯川 嘉津美（上智大学）
- [27] 10:30 明治10年代教育事務における「民権」論
湯川 文彦（お茶の水女子大学）
- 〈総合討論〉 11:00-11:30

第7分科会 会場：本館2階 23番教室

司会：橋本 美保（東京学芸大学）・江口 潔（九州大学）

- [28] 9:00 東京府青山師範学校附属小学校における「学校と家庭の連絡」
—1910年代から20年代にかけての「学校家庭通信」を手がかりに—
山梨 あや（慶應義塾大学）
- [29] 9:30 1920-30年代の大衆消費社会の到来に対峙する農村小学校の『同窓会雑誌』
—東京府南多摩郡鶴川村尋常高等小学校を事例として—
上田 誠二（横浜国立大学・非）
- [30] 10:00 新教育運動における学園都市の一考察
—自由学園を事例として—
福原 充（立教大学）
- [31] 10:30 大正期の農村部における学校園
田中 千賀子（武蔵野美術大学・非）
- [32] 11:00 奈良女子高等師範学校附属小学校における「特別学級」の設置
—対象児童の選出方法に着目して—
林 喜子（名古屋大学・院）
- 〈総合討論〉 11:30-12:00

9月30日(日) 午前 研究発表

第8分科会 会場：本館2階 24番教室

司会：山田 恵吾 (埼玉大学)・須田 将司 (東洋大学)

- [33] 9:00 1920年代小学校最上級学年児童の宮城拝観についての一考察
橋本 萌 (お茶の水女子大学基幹研究院)
- [34] 9:30 『低学年の喧嘩』にみる1930年代教師の児童観
木下 いずみ (川崎市立東門前小学校)
- [35] 10:00 民力涵養運動の展開と小学校教師
—長島重三郎の地域社会に対する意識を中心として—
真辺 駿 (東京学芸大学・院)
- [36] 10:30 天野藤男の青年団論における修養と教養
田邊 尚樹 (東京大学・院)
- [37] 11:00 1930年代における宗教的情操教育
—研究開発校の模索—
井上 兼一 (皇學館大学)
- 〈総合討論〉 11:30-12:00

第9分科会 会場：本館2階 25番教室

司会：羽田 貴史 (広島大学高等教育研究開発センター)・大橋 基博 (名古屋造形芸術大学短期大学部)

- [38] 9:00 戦後教育改革に関する一考察
—職業教育を中心に—
高橋 潤子 (九州情報大学・非)
- [39] 9:30 戦後教育改革から現代の大学教育改革へ
—旧教育基本法「前文」成立過程の議論を手がかりに—
橋爪 孝夫 (山形大学)
- [40] 10:00 戦後改革期特設高等学校の研究
吉川 卓治 (名古屋大学)
- [41] 10:30 戦後教育史における義務教育学校職員法案の位相
井深 雄二 (大阪体育大学)
- [42] 11:00 筑波大学教育学域ならびにその前身高等教育機関における教育学研究スタッフに着目した教育学研究の歴史的発展過程の一側面に関するプロソグラフィ的研究
鈴木 篤 (大分大学)
- 〈総合討論〉 11:30-12:00

9月30日(日) 午前 研究発表

第10分科会 会場：本館2階 28番教室

司会：白水 浩信（北海道大学）・中村 勝美（広島女学院大学）

- [43] 9:00 シャルル・ロランにみるフェヌロン教育思想の受容
—18世紀フランス教育思想の展開をめぐって—
越水 雄二（同志社大学）
- [44] 9:30 近代初期イギリスにおける^{ガヴァナー}教導者論の展開
—ジョン・デュリー『改革学校』を手がかりに—
三浦 啓（東京大学・院）
- [45] 10:00 英国は近代日本教育をどうみていたか
—General Report on the Japanese system of military Education and training 1906の分析を中心として—
深谷 圭助（中部大学）
- [46] 10:30 イギリスにおける「教育学教授」の誕生（1873年）
—「教育の科学」という言説に着目して—
本多 みどり（帝京科学大学）
- [47] 11:00 フランス植民地期西アフリカにおける初期植民地教育
—ジャン・ダールの教育実践に焦点をあてて—
谷口 利律
- 〈総合討論〉 11:30-12:00

9月30日(日)午後 研究発表

第11分科会 会場：本館2階 24番教室

司会：荒井 明夫（大東文化大学）・井上 恵美子（フェリス女学院大学）

[48] 13:00 華族女学校をめぐる政治

加藤 靖子（東京大学・院）

[49] 13:30 婦人束髪会の結成と渡邊鼎
—婦人の改良と衛生—

新藤 康太（北海道大学・院）

[50] 14:00 1883年改正徴兵令における学歴による在営期間短縮条項に関する一考察
—一年志願兵制と歩兵操練科卒業証書による早期帰休制—

奥野 武志（早稲田大学）

[51] 14:30 戦前京都府において、私立学校卒業生は、いかにして小学校教員免許状を取得したのか
—無試験検定における三つの取得ルート—

遠藤 健治（美作大学）

〈総合討論〉15:00-15:30

第12分科会 会場：本館2階 22番教室

司会：斉藤 利彦（学習院大学）・前田 一男（立教大学）

[52] 13:00 戦時下における教育科学研究会の教育改革論
—生活教育の構想—

金 智恩（蒲田保育専門学校）

[53] 13:30 国民訓育連盟の形成過程
—第一出版協会と水戸市竹隈（城東）小学校の果たした役割—

国谷 直己（東洋大学・院）

[54] 14:00 皇国民錬成の理念と国民学校教育の研究

伊藤 幹彦

[55] 14:30 石森延男と『満洲補充読本』
—磯田一雄の石森理解をめぐって—

宇賀神 一（神戸大学・院／日本学術振興会特別研究員）

〈総合討論〉15:00-15:30

9月30日(日)午後 研究発表

第13分科会 会場：本館2階 25番教室

司会：梶村 光郎（沖縄大学）・小国 喜弘（東京大学）

- [56] 13:00 日本教職員組合の平和運動方針案（1949年11月）はどのように作られたのか
布村 育子（埼玉学園大学）
- [57] 13:30 勤評闘争以降の「恵那の教育」におけるアカウントビリティ
—教師と保護者との関係のオーラルヒストリー—
久保田 英助（愛知学泉大学）
- [58] 14:00 1950年代前半岩国市における「平和教育」の試み
—市立愛宕小学校の実践に着目して—
山口 刀也（京都大学・院）
- [59] 14:30 戦後初期の高等学校学習指導要領の実施状況
—特に工業科の教育課程に着目して—
山田 宏（一橋大学・院）
- 〈総合討論〉 15:00-15:30

第14分科会 会場：本館2階 28番教室

司会：中村 雅子（桜美林大学）・渡邊 隆信（神戸大学）

- [60] 13:00 母親ということと専門家ということ
—リリー・ドレシャーが直面したもの—
小玉 亮子（お茶の水女子大学）
- [61] 13:30 ドイツ民衆図書館における路線論争
松井 健人（東京大学・院）
- [62] 14:00 1920年代仏領西アフリカにおける「教育の適応」
小綿 哲（京都大学・院）
- [63] 14:30 1960年代のアメリカ女性大学人協会による女性大学教員養成プロジェクト
坂本 辰朗（創価大学）
- 〈総合討論〉 15:00-15:30